

- 問1 日清戦争後の日本の産業において、八幡製鉄所の設立が果たした役割やその背景を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 賠償金を資金に官営で設立され、筑豊炭田の石炭を活用して重工業発展の礎となった | 2. 私鉄による開発を中心として設立され、生糸の輸出量を飛躍的に増加させた | 3. イギリスの技術を導入して設立され、日露戦争の賠償金を主な資金として運営された | 4. 東北地方の資源を活用するために設立され、日本の軽工業を世界一の規模に成長させた |
|---|---------------------------------------|---|--|
-
- 問2 1881年に明治政府が「国会開設の勅諭」を出したことを受け、将来の国会開設に備えて結成された、日本最初の政党の名称とその党首となった人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------------|--------------|---------------|
| 1. 自由党：板垣退助 | 2. 立憲帝政党：福地源一郎 | 3. 憲政党：大久保利通 | 4. 立憲改進黨：大隈重信 |
|-------------|----------------|--------------|---------------|
-
- 問3 1886年、和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没し、日本人乗客25名全員が犠牲になった一方で、船長らイギリス人乗組員は救命ボートで脱出し生存するという事件が起きました。この事件の裁判において、イギリス人船長が日本の法律で裁かれず、軽い刑に留まった法的な要因は何ですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 日英同盟に基づき、イギリス人には特別な法的保護が与えられていたため | 2. 日本に関税自主権がなく、外国船の活動を制限できなかったため | 3. 当時の日本にまだ近代的な刑法が制定されていなかったため | 4. 領事裁判権（治外法権）を欧米諸国に認めていたため |
|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
-
- 問4 1890年に実施された第1回衆議院議員選挙における有権者の資格について、性別・年齢・経済的条件を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. 直接国税を一定額以上納める、満20歳以上の男女 | 2. すべての所得税を納めている、満30歳以上の男子 | 3. 地租を5円以上納めている、満25歳以上の男子 | 4. 直接国税を一定額以上納める、満25歳以上の男子 |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
-
- 問5 1905年、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容が報じられると、日本国内では「日比谷焼打ち事件」と呼ばれる大規模な暴動が発生しました。この事件の背景にある、当時の国民の不満として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日露戦争で勝利したにもかかわらず、下関条約で得たはずの遼東半島をロシア・ドイツ・フランスの干渉により返還させられたことへの反発。 | 2. 戦争中に米の価格が急騰したことで生活が苦しくなった都市部の住民が、政府の物価政策と戦争継続に反対したことによる不満。 | 3. 日清戦争時と比較して数倍にのぼる動員兵数や戦費を重税によって支えてきたにもかかわらず、賠償金が全く得られなかったことへの不満。 | 4. 条約の仲介役であったアメリカが、日本の韓国に対する優越権を認めず、南満州の鉄道利権もすべてロシアに返還させたことへの怒り。 |
|---|---|--|--|
-
- 問6 国会開設を求める運動が全国的に高まり、1880年には国会期成同盟が結成されました。こうした状況を受け、明治政府が1881年に「10年後の国会開設」を公約した公文書を選びなさい。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|------------|------------|
| 1. 教育勅語 | 2. 徴兵令 | 3. 国会開設の勅諭 | 4. 大日本帝国憲法 |
|---------|--------|------------|------------|
-
- 問7 巨大なロシアを象徴する人物と、それより体格の小さい日本を象徴する人物が橋の上で向き合い、その様子をイギリスやアメリカが対岸から眺めている様子を描いた風刺画があります。この風刺画が描かれた時期の出来事として、正しいものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 与謝野晶子が、旅順の軍に従軍していた弟を思い「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した。 | 2. 日本が清との戦争に勝利し、下関条約によって多額の賠償金と遼東半島などの領土を獲得した。 | 3. 不平等条約の改正が完了し、小村寿太郎によって日本の税関に関わる権利である関税自主権が完全に回復した。 | 4. 欧州での戦争が長期化したことで、日本が日本輸出の大半を占めるようになる大戦景気を経験した。 |
|--|--|---|--|
-
- 問8 1894年に陸奥宗光外相がイギリスとの間で調印し、長年の課題であった不平等条約の改正を大きく前進させた内容として、正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 1. 下関条約により、遼東半島や台湾を領有することを国際的に認めさせた。 | 2. ポーツマス条約の締結により、樺太の南半分を日本領とすることを確定させた。 | 3. 関税自主権を完全に回復し、日本が自由に輸入関税の税率を決められるようにした。 | 4. 領事裁判権を撤廃し、日本国内の外国人に対しても裁判権を行使できるようにした。 |
|--------------------------------------|---|---|---|
-
- 問9 「17世紀から20世紀後半に至る世界の権利や民主化に関する略年表」において、日本の自由民権運動が始まった1870年代から約20年が経過し、日本が日清戦争に勝利した時期の外交的な出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. ベルサイユ条約の調印に参加し、山東省におけるドイツの権益を継承するとともに、国際連盟の常任理事国となった。 | 2. 樺太・千島交換条約を締結することで、樺太をロシア領、千島列島を日本領とすることを正式に決定した。 | 3. ポーツマス条約を締結し、ロシアから賠償金は得られなかったものの、南樺太の領有権や大連・旅順の租借権を獲得した。 | 4. 下関条約によって一度は遼東半島を獲得したが、ロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けて清に返還した。 |
|--|---|--|---|
-
- 問10 1871年に岩倉具視を全権大使として欧米諸国へ派遣された使節団の目的の一つは、江戸幕府が結んでいた不平等条約を改正するための予備交渉でした。このとき日本が改正を目指していた条約の代表例として、領事裁判権を認め関税自主権を欠いていたものはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|---------|
| 1. 日米和親条約 | 2. 日清修好条規 | 3. 日米修好通商条約 | 4. 下関条約 |
|-----------|-----------|-------------|---------|
-
- 問11 1899年（明治32年）の日本の輸入額の割合を示した統計において、輸入総額の28.2%を占めて第1位となった、紡績業の発展に不可欠だった品目として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 綿花 | 2. 砂糖 | 3. 生糸 | 4. 綿織物 |
|-------|-------|-------|--------|
-
- 問12 自由民権運動の高まりにより、各地では住民が政治に参加する場として地方議会が設置され始めました。山形県などにおいても県議会の議員たちが活動する姿が記録されています。この運動において、後に日本初の政党である自由党を結成し、運動を牽引した人物は誰ですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 伊藤博文 | 2. 桂太郎 | 3. 大隈重信 | 4. 板垣退助 |
|---------|--------|---------|---------|
-
- 問13 1904年に始まった日露戦争を終結させるため、翌年にアメリカの大統領の仲介によって結ばれた講和条約の名称を選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------------|-----------------|---------|
| 1. ポーツマス条約 | 2. 樺太・千島交換条約 | 3. サンフランシスコ平和条約 | 4. 下関条約 |
|------------|--------------|-----------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 賠償金を資金に官営で設立され、筑豊炭田の石炭を活用して重工業発展の礎となった	八幡製鉄所は、1894年の日清戦争後に清から支払われた賠償金をもとに、政府が経営する官営の工場として設立されました。地理的に近い筑豊炭田から石炭を調達し、大陸からの鉄鉱石輸入にも便利な北九州が選ばれたことが大きな特徴です。この製鉄所の稼働により、軍事や鉄道などの分野で不可欠な鉄鋼の国産化が進み、日本の重工業化を大きく推し進める原動力となりました。なお、日露戦争では日本は賠償金を得ることができなかったため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 自由党：板垣退助	明治十四年の政変を経て、政府が10年後の国会開設を約束すると、自由民権運動の指導者たちは政党の結成に動き出しました。土佐藩出身の板垣退助は、フランス流の急進的な自由主義・民主主義を掲げる「自由党」を組織し、士族や豪農、農民など幅広い層の支持を集めました。一方、大隈重信が翌年に結成したのはイギリス流の穏健な改革をめざす立憲改進党です。
問3	答え 4 領事裁判権（治外法権）を欧米諸国に認めていたため	幕末に結ばれた不平等条約には、外国人が日本で罪を犯してもその国の領事が裁判を行う「領事裁判権（治外法権）」が認められていました。ノルマントン号事件では、日本人全員が死亡したにもかかわらず、イギリス側の裁判で船長に下された判決が極めて軽かったため、日本国内で条約改正を求める国民運動が急速に高まりました。
問4	答え 4 直接国税を一定額以上納める、満25歳以上の男子	大日本帝国憲法の公布後、初めて実施された総選挙では、納税額に基づいた制限選挙制度が採用されました。具体的には、直接国税（地租や所得税）を15円以上納めている満25歳以上の男子にのみ選挙権が与えられていました。これにより、当時の有権者は全人口のわずか1.1%程度に留まっていました。
問5	答え 3 日清戦争時と比較して数倍にのぼる動員兵数や戦費を重税によって支えてきたにもかかわらず、賠償金が全く得られなかったことへの不満。	日露戦争は、日清戦争と比較して投入された兵力や戦費が桁違いに多く、国民は生活を切り詰めて重税を支払い、戦争を支えていました。日清戦争では多額の賠償金（2億両）を得ていたため、国民は今回も多額の賠償金が得られると期待していましたが、ポーツマス条約では賠償金が「なし」という結果になりました。この期待と現実のギャップが、講和反対を叫ぶ国民大会から警察署や新聞社などを襲撃する暴動へと発展した背景です。
問6	答え 3 国会開設の勅諭	政府内部での政争（明治十四年の政変）を経て、政府は民衆の要求を一部受け入れる形で、1890年に議会を開くことを約束しました。これを受けて、板垣退助を党首とする自由党などの政党が結成されることになりました。
問7	答え 1 与謝野晶子が、旅順の軍に従軍していた弟を思い「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した。	大柄なロシアと小柄な日本が戦う様子は、1904年に開戦した日露戦争を表しています。この戦争中、歌人の与謝野晶子は、激戦地となった旅順に出征した弟を案じ、雑誌『明星』に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表しました。これは当時の戦争に対する国民の複雑な感情を示すエピソードとして知られています。なお、関税自主権の回復は日露戦争後の1911年、大戦景気は第一次世界大戦時の出来事です。
問8	答え 4 領事裁判権を撤廃し、日本国内の外国人に対しても裁判権を行使できるようにした。	明治政府は、欧米諸国に認められていた領事裁判権（治外法権）の撤廃を求めて交渉を続け、1894年の日英通商航海条約によってようやくその合意を取り付けました。これにより、日本国内で外国人が犯罪を犯した場合でも日本の法律で裁くことが可能になり、日本の国際的地位が向上しました。なお、もう一つの課題であった「関税自主権の回復」が完全に達成されるのは、さらに後の1911年（小村寿太郎外相の時）となります。
問9	答え 4 下関条約によって一度は遼東半島を獲得したが、ロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けて清に返還した。	日清戦争後の1895年に結ばれた下関条約では、日本は清から遼東半島、台湾、澎湖諸島を譲り受けることが決まりました。しかし、東アジアへの進出を狙っていたロシアは、ドイツやフランスとともに日本に対して「遼東半島を清に返還すること」を要求しました。これを三国干渉と呼び、当時の日本はこれを受け入れるほかありませんでした。選択肢にある樺太・千島交換条約は1875年、ポーツマス条約は1905年、ベルサイユ条約は1919年の出来事であり、時期や内容が異なります。
問10	答え 3 日米修好通商条約	岩倉使節団が交渉の足がかりとしようとしたのは、1858年に江戸幕府がアメリカなどと結んだ日米修好通商条約をはじめとする不平等条約です。しかし、当時の日本は法制度などが整っていなかったため、欧米諸国から近代国家として認められず、条約改正の交渉は失敗に終わりました。この挫折が、日本国内の近代化を急ぐきっかけとなりました。
問11	答え 1 綿花	明治時代後半、機械制紡績の普及によって日本の紡績業が急速に発展しました。1890年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回り、さらに1897年には輸出量が輸入量を上回るようになります。このように国内で綿製品を大量に生産できるようになったため、製品としての綿織物の輸入は減少し、代わりにその原料となる綿花の輸入が急増しました。
問12	答え 4 板垣退助	板垣退助は、土佐藩出身の政治家で、藩閥政治による専制を否定するために議会の開設を訴えました。1881年には自由党を結党し、その党首として全国を遊説し、国会の開設に向けた世論を盛り上げました。
問13	答え 1 ポーツマス条約	日露戦争は長引く戦闘により日露両国が疲弊したため、アメリカのセオドア・ルーズベルト大統領の仲介によって講和会議が開かれました。1905年にアメリカのポーツマスで結ばれたこの条約により、戦争は終結しました。下関条約は日清戦争、樺太・千島交換条約は明治初期のロシアとの国境画定、サンフランシスコ平和条約は第二次世界大戦後の講和条約です。

- 問1 1904年に始まった日露戦争の情勢を描いたある風刺画では、橋の上で対峙する小柄な日本と大柄なロシアを、川の対岸からイギリスやアメリカを象徴する人物が見守る様子が描かれています。この風刺画が示している、当時の日本の外交状況として最も適切なものはどれですか。 （2026年 和歌山県公立入試 類似）
- イギリスとの間で日英同盟を結び、ロシアの南下政策を警戒するアメリカからも資金援助などの支援を受けていた状況
 - 日英同盟を破棄してロシアとの和解を模索しており、それに対してイギリスやアメリカが警戒を強めていた状況
 - 三国干渉によって遼東半島を返還させられた直後であり、ロシア・ドイツ・フランスの3か国による圧力を受けていた状況
 - 第一次世界大戦の勃発を受け、イギリスの同盟国として参戦し、アジアにおけるドイツの拠点を攻略しようとしていた状況
- 問2 明治初期の歴史の流れにおいて、士族による武力反乱（西南戦争など）が鎮まった後の時期（1880年頃）の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 香川県公立入試 類似）
- 言論によって政府を批判し、国会の開設を求める国会期成同盟が大阪で結成された。
 - 藩閥政治を維持するために、政府自らが日本初の本格的な政党である自由党を結成した。
 - 憲法が公布された直後であったため、国会開設を求める運動は急速に沈静化した。
 - 不平士族たちが江戸幕府の再興を目指し、各地で政府軍と激しい戦闘を繰り広げた。
- 問3 明治時代初期の日本において、富岡製糸場で生産された製品が果たした経済的な役割について、正しい説明を選びなさい。 （2026年 岐阜県公立入試 類似）
- アジア諸国から原料を安く輸入し、日本で加工して再輸出する加工貿易のモデルケースとなった。
 - すべて国内の衣類生産に回され、それまで輸入に頼っていた綿織物の自給自足を可能にした。
 - 国内の鉄道網や軍艦を建設するための主要な原材料となり、重工業化の基盤を築いた。
 - 外貨を獲得するための最大の輸出製品となり、近代化に必要な機械の購入や外国人技師の雇用を支えた。
- 問4 1885年に内閣制度が創設された背景と、初代内閣総理大臣となった人物の動向について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 （2021年 愛媛県公立入試 類似）
- 自由民権運動による国会開設の要求を抑え込むため、議会を通さずに独裁権を行使する目的で創設され、山県有朋が就任した。
 - 不平等条約の改正を有利に進めるため、欧米諸国と同様の議院内閣制を確立する目的で創設され、板垣退助が就任した。
 - 大日本帝国憲法の公布に先立ち、天皇を補佐する行政の責任体制を整える目的で創設され、ドイツの憲法を研究した伊藤博文が就任した。
 - 日清戦争の賠償金管理を主目的として創設され、財政に詳しく松方正義が就任した。
- 問5 1904年から1905年の日露戦争の推移とその結果に関連して、当時の国際情勢やアジアへの影響について述べた文として正しいものを次のの中から選んでください。 （2025年 沖縄県公立入試 類似）
- 日本の勝利は、アジア諸国の人々に独立の希望を抱かせ、帝国主義的な支配に抵抗する民族運動を促した。
 - ロシアが日露戦争の敗北により直ちにアジアから撤退したため、アジアのすべての植民地は1905年に独立を達成した。
 - 日露戦争の講和条約の結果、日本は賠償金を獲得し、それを資金としてアジア全域の独立を支援する基金を設立した。
 - 戦時中、日本は北海道の守りを固めるために屯田兵を清や韓国へ派遣し、現地の開拓と防衛を同時に進めた。
- 問6 1910年から1914年における日本の鉄鋼生産統計によると、全国の鉄鋼生産高は約22.3万トンでしたが、そのうち官営の八幡製鉄所が約19.2万トンを占めていました。このような状況が当時の日本経済に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 （2018年 和歌山県公立入試 類似）
- 国内生産の大部分を担うことで、鉄鋼の自給率を高めた。
 - 民間企業が主体となった重工業の発展を、資金面から強く支援した。
 - 鉄鋼を主要な輸出製品へと成長させ、日本の貿易を黒字に転換させた。
 - すべての原材料を国内産でまかなう、資源の完全な自給自足を実現した。
- 問7 1901年に福岡県で操業を開始し、日本の重工業化の基盤となった官営工場の名称とその設立背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2024年 茨城県公立入試 類似）
- 名称：富岡製糸場、背景：フランスの技術を導入し、日本最大の生糸輸出拠点として建設された。
 - 名称：足尾銅山、背景：急速な工業化に伴う銅の需要に応えるため、国営のモデル鉱山として整備された。
 - 名称：長崎造船所、背景：軍艦の自給自足を目指し、明治新政府が直接経営する最大の造船所として発足した。
 - 名称：八幡製鉄所、背景：日清戦争の賠償金の一部を資金に、筑豊炭田に近い場所に建設された。
- 問8 1881年、明治政府が「国会開設の勅諭」を出して10年後の国会開設を約束したことを受け、板垣退助を党首として結成された、日本で最初の本格的な政党は何ですか。 （2016年 佐賀県公立入試 類似）
- 自由党
 - 立憲政友会
 - 日本社会党
 - 立憲改進黨
- 問9 1900年から1914年にかけての日本の鉄鋼生産に関するデータにおいて、ある官営製鉄所の生産高が1.8万トンから19.2万トンへと急増し、これに伴い国内全体の鉄鋼自給率も13.4%から36.8%へと大幅に上昇しました。この製鉄所が設立された主な目的と背景について、正しい説明を選びなさい。 （2018年 和歌山県公立入試 類似）
- 日清戦争の賠償金を資金とし、軍備拡張や鉄道建設に必要な鉄鋼の国産化を推進するため。
 - 地租改正による税収の安定を背景に、フランスの技術を取り入れて生糸の輸出を増やすため。
 - 日露戦争の講和条約で得た多額の賠償金を資金とし、重工業の完全自給を達成するため。
 - 第一次世界大戦による大戦景気を背景に、民間の資本を中心として鉄鋼の輸入を抑えるため。
- 問10 明治時代の外交と制度の発展において、1911年に関税自主権の回復が達成された背景や経緯として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 新潟県公立入試 類似）
- 日露戦争の敗北により国家の危機に直面したため、国内の結束を高める目的で大日本帝国憲法を改正し、同時に関税自主権の回復を一方的に宣言した。
 - 日露戦争での勝利などを通じて日本の国際的地位が向上し、近代的な憲法や法典を持つ国として認められたことが、対等な条約締結の背景となった。
 - 日清戦争の講和条約である下関条約において、清から得た賠償金と引き換えに、欧米諸国が日本に対して関税自主権を返還することを認めた。
 - 大日本帝国憲法が制定される以前に、軍勢力を背景とした外交交渉によって欧米諸国から関税自主権を勝ち取っていた。
- 問11 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約において、日本が新たに獲得した領土に関する説明として正しいものを選びなさい。 （2022年 大分県公立入試 類似）
- 千島列島の全域を日本領とした。
 - 樺太の北緯50度以南の地域を日本領とした。
 - 樺太全域を日本領とし、千島列島をロシアに譲渡した。
 - 択捉島と得撫島の間に初めて国境線を引いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イギリスとの間で日英同盟を結び、ロシアの南下政策を警戒するアメリカからも資金援助などの支援を受けていた状況	日露戦争において、日本は1902年に結ばれた日英同盟を背景に、ロシアの南下を阻止したいイギリスから軍事・外交面での支援を得ていました。また、アメリカからも戦費調達のための外債引き受けといった財政的支援を受けていました。風刺画におけるイギリスやアメリカが「観戦」している姿は、直接参戦はしないものの、日本を後押ししてロシアと戦わせている当時の国際的な利害関係を表現しています。
問2	答え 1 言論によって政府を批判し、国会の開設を求める国会期成同盟が大阪で結成された。	1877年の西南戦争を最後に土族による武力反乱が終息すると、反政府運動の主流は武力から言論による「自由民権運動」へと変化しました。その過程で、1880年に大阪で国会期成同盟が結成され、全国から集まった代表者が国会開設の請願を行うなど、運動は組織化・全国化していきました。
問3	答え 4 外貨を獲得するための最大の輸出製品となり、近代化に必要な機械の購入や外国人技師の雇用を支えた。	当時の日本は、急速に欧米の制度や技術を取り入れる必要がありましたが、そのためには多額の外貨が必要でした。生糸は当時の日本において最も重要な輸出商品であり、富岡製糸場で生産された高品質な生糸を輸出することで、国費を調達し近代国家としての基盤を固めることができました。
問4	答え 3 大日本帝国憲法の発布に先立ち、天皇を補佐する行政の責任体制を整える目的で創設され、ドイツの憲法を研究した伊藤博文が就任した。	明治政府は1889年の憲法発布と1890年の国会開設に備え、行政の近代化を急いでいました。伊藤博文は渡欧してドイツ（プロイセン）の憲法理論を学び、君権の強い国家モデルを日本に導入しようとした人物であり、内閣制度の創設とその初代就任は憲法体制を運用するための重要なステップでした。
問5	答え 1 日本の勝利は、アジア諸国の人々に独立の希望を抱かせ、帝国主義的な支配に抵抗する民族運動を促した。	日露戦争の勝利は、単なる日本の軍事的成功にとどまらず、アジア全体のナショナリズムを高揚させる歴史的転換点となりました。当時、多くのアジア諸国は欧米列強の植民地支配下にありましたが、日本の勝利に刺激を受け、自国の独立や近代化を目指す動きが活発になりました。選択肢にある「屯田兵」や「開拓使」は明治初期の北海道開拓に関連する用語であり、日露戦争によるアジアへの影響を説明するものではありません。
問6	答え 1 国内生産の大部分を担うことで、鉄鋼の自給率を高めた。	日清戦争の賠償金をもとに建設された八幡製鉄所は、当時の日本における鉄鋼生産の圧倒的なシェアを占めていました。操業初期には13.4%であった鉄鋼の自給率は、八幡製鉄所が生産を本格化させた1910年代前半には36.8%まで上昇しており、軍事や鉄道建設に必要な資材を国内で供給できる体制が整い始めたことを示しています。当時はまだ輸出に回す余裕はなく、国内需要を満たすことが主眼でした。
問7	答え 4 名称：八幡製鉄所、背景：日清戦争の賠償金の一部を資金に、筑豊炭田に近い場所に建設された。	日本の重工業の出発点となった八幡製鉄所は、日清戦争で得た賠償金を資金源として設立されました。原料となる石炭を確保するため、大規模な炭田（筑豊炭田）に近い福岡県の八幡（現在の北九州市）が選ばれました。これにより、それまでの軽工業中心の経済構造から、鉄鋼の自給を目指す重工業化への道が拓かれました。
問8	答え 1 自由党	明治十四年の政変により、政府は1890年に国会を開設することを公約しました。これを受けて自由民権運動は政党結成の動きへと進み、板垣退助を中心とした土族や豪農らがフランス流の自由主義を掲げてこの政党を組織しました。大隈重信が結成した立憲改進黨とは、支持層や手本とした国の思想が異なります。
問9	答え 1 日清戦争の賠償金を資金とし、軍備拡張や鉄道建設に必要な鉄鋼の国産化を推進するため。	当時の日本は鉄鋼の大部分を輸入に頼っていましたが、軍備やインフラ整備のために国産化が急務でした。そこで日清戦争の賠償金を原資として八幡製鉄所が設立されました。1901年の操業開始後、生産量は飛躍的に伸び、日本の重工業化を牽引することとなりました。なお、日露戦争では賠償金を得られなかった点も歴史的な重要ポイントです。
問10	答え 2 日露戦争での勝利などを通じて日本の国際的地位が向上し、近代的な憲法や法典を持つ国として認められたことが、対等な条約締結の背景となった。	不平等条約の改正には、日本が欧米諸国に比肩する近代的な法制度を持つ国であることを証明する必要がありました。1889年の大日本帝国憲法の制定はその大きな一歩であり、その後の日清戦争や日露戦争での勝利による国際的な発言力の強化が、最終的な関税自主権の回復（1911年）を後押ししました。下関条約はあくまで日清戦争の講和条約であり、日露戦争に日本は勝利しているため、他国の譲歩や日本の敗北を理由とする説明は誤りです。
問11	答え 2 樺太の北緯50度以南の地域を日本領とした。	1905年のポーツマス条約により、日本はロシアから南樺太（北緯50度以南）を譲り受けました。これにより、当時の日本の北方領土は、1875年に獲得していた千島列島全域に加え、南樺太まで拡大することとなりました。この境界線は、第二次世界大戦後のサンフランシスコ平和条約で放棄するまで維持されました。

- 問1 1890年代後半の日本の貿易統計において、1892年当時には輸入品の上位にあったものが、国内での機械による生産が拡大したことで1899年には主要な輸出品へと転じた製品と、それに関連して輸入量が増加した原料の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 製品：鉄鋼、原料：鉄鉱石 2. 製品：綿糸、原料：綿花 3. 製品：生糸、原料：蚕の繭 4. 製品：綿織物、原料：羊毛
-
- 問2 19世紀のフランスにおける選挙制度の発展について、その背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. イギリスの動きに追従する形で、地主や資本家のみに限定された選挙制度が続いた。 2. 鉄血宰相と呼ばれた指導者のもと、軍事力の強化と引き換えに選挙権が拡大した。 3. 二月革命によって王政が倒れたのち、世界に先駆けて男子普通選挙が実施された。 4. 万国博覧会の開催に合わせて、国民の連帯感を高めるために初めて導入された。
-
- 問3 明治時代の外交史において、1894年の日清戦争や1900年の『武士道』刊行の後の1904年に勃発した、朝鮮半島と満洲の支配権をめぐる日本とロシアとの間で行われた戦争を何といいますか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 日清戦争 2. 第一次世界大戦 3. 日露戦争 4. シベリア出兵
-
- 問4 ノルマントン号事件において、日本人乗客が見殺しにされたにもかかわらず、イギリス人船長らが軽い罪で済んだ背景には、当時日本が結んでいた条約のどのような不平等な内容が関係していたか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を許可していた 2. 関税自主権を持っていなかった 3. 領事裁判権（治外法権）を認めていた 4. 片務的な最恵国待遇を認めていた
-
- 問5 板垣退助らが「民撰議院設立の建白書」を提出したことで本格化した、国民の自由や権利を求め、国会の開設や憲法の制定を訴えた一連の政治運動を何といいますか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 自由民権運動 2. 尊王攘夷運動 3. 文明開化 4. 公武合体運動
-
- 問6 17億円を超える巨額の軍事費を投じた日露戦争の講和内容が、期待していたものより不利であるとして、1905年に東京で発生した大規模な暴動事件を何というか、次の中から選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 日比谷焼打ち事件 2. 大逆事件 3. 血盟団事件 4. 米騒動
-
- 問7 大日本帝国憲法の統治の仕組みにおいて、行政を担う機関である内閣と、主権者である天皇、および帝国議会との関係について説明した文として、最も適切なものを選んでください。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 内閣は立法権も併せ持っており、帝国議会の承認を得ることなく法律を自由に制定することができた。 2. 内閣は衆議院に対してのみ責任を負い、衆議院で不信任案が可決された場合は必ず総辞職しなければならない。 3. 内閣総理大臣は、帝国議会の指名に基づいて天皇が任命する議院内閣制が憲法で明記されていた。 4. 内閣の各国务大臣は、天皇を助け「輔弼（ほひつ）」の役割を担い、天皇に対して個別に責任を負った。
-
- 問8 明治時代、板垣退助らが政府に対して「民撰議院設立の建白書」を提出したことをきっかけに始まった、憲法の制定や国会の開設を求めた政治運動の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 自由民権運動 2. 足尾銅山鉱毒事件反対運動 3. 大正デモクラシー 4. 普選運動
-
- 問9 1905年から1921年のワシントン会議開催までの期間において、第一次世界大戦中に日本が中国の袁世凱政府に対して行った、東アジアでの影響力を決定づける要求は何と呼ばれますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. ポーツマス要求 2. 国家総動員法 3. 二十一条の要求 4. 南満洲鉄道株式会社の設立要求
-
- 問10 日本の近代化に関する調査において、明治政府が「領事裁判権の撤廃」を欧米諸国に認めさせるために不可欠だった背景について述べています。政府が条約改正交渉を進めるにあたり、国際社会に対して日本が「文明国」であることを証明するために行った取り組みとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 成人男性による普通選挙を実施し、民主的な政治体制を確立したことを世界にアピールした。 2. 憲法の制定や刑法・民法などの近現代的な法体系を整備し、欧米に劣らない法治国家の仕組みを整えた。 3. 軍備を増強して日清戦争に勝利し、その軍事力を背景に武力による条約の一方的破棄を通告した。 4. 欧米諸国からの借金をすべて完済し、経済的な自立を達成することで外交的な発言力を強めた。
-
- 問11 1886年に発生し、領事裁判権（治外法権）の撤廃を求める国民の声を大きく高めることになった出来事として適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. イギリス船が沈没した際、日本人乗客が見捨てられたにもかかわらず船長らが軽い罰で済まされたノルマントン号事件 2. 朝鮮や満洲の支配権をめぐるロシアと対立し、多大な犠牲を払いながらも日本の国際的地位を高めることになった日露戦争 3. 軍艦を朝鮮の沿岸に派遣し、武力衝突を引き起こしたことで朝鮮を開国させるきっかけとなった江華島事件 4. 不平等条約の改正交渉の一環として、岩倉具視を特命全権大使とする使節団が欧米諸国へ派遣された出来事
-
- 問12 1911年、孫文が指導し、清を倒してアジアで最初の共和国である中華民国を成立させた革命を何といいますか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 五・四運動 2. 太平天国の乱 3. 義和団事件 4. 辛亥革命
-
- 問13 明治政府が推進した改革により、生活の糧である秩禄（給与）の廃止や廃刀令によって特権を奪われた人々が、西郷隆盛を指導者として1877年に起こした最大規模の反乱について、その名称と主な背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 名称は日比谷焼打ち事件であり、背景には日露戦争の講和条約の内容に対する民衆の激しい怒りがあった。 2. 名称は尊王攘夷運動であり、背景には開国を強行した幕府を倒して天皇中心の国づくりを目指す考え方があった。 3. 名称は西南戦争であり、背景には明治政府の近代化政策によって武士としての地位や特権を失った士族の不満があった。 4. 名称は戊辰戦争であり、背景には江戸幕府を守ろうとする勢力と新政府軍との対立があった。
-
- 問14 1905年にアメリカの仲介によってロシアと結ばれたポーツマス条約の内容が、当時の日本国民にとって期待外れであったために発生した抗議活動の説明として、正しいものを選択してください。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦後の講和条約の内容に不満を持った人々が、中国で起こした五・四運動が波及した。 2. 明治天皇の暗殺を計画したとして、幸徳秋水らの社会主義者が捕らえられた大逆事件が起きた。 3. 東京の日比谷公園で講和反対の国民大会が開かれ、暴動へと発展した日比谷焼打ち事件が起きた。 4. シベリア出兵による米価の急騰を受け、富山県の主婦らが米の安売り求めた米騒動が起きた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 製品：綿糸、原料：綿花	明治時代中期、大阪紡績会社の成功などをきっかけに、蒸気機関を用いた大規模な工場制機械工業が普及しました。これにより綿糸の国内生産量が急増し、1890年には生産量が輸入量を、1897年には輸出量が輸入量を上回りました。この変化に伴い、国内で消費される綿糸を製造するための原料となる綿花の輸入が、貿易構成において大きな割合を占めるようになりました。
問2	答え 3 二月革命によって王政が倒れたのち、世界に先駆けて男子普通選挙が実施された。	フランスでは1848年の二月革命により、それまでの制限選挙を維持していた七月王政が崩壊し、新しく発足した臨時政府によって男子普通選挙が実現しました。これは当時としては極めて先進的な制度でした。選択肢にある「鉄血宰相」はプロイセン（ドイツ）のビスマルクを指す言葉であり、フランスの歴史背景とは異なります。また、イギリスはこの時期、段階的に選挙権を拡大させていたものの、フランスのような急進的な普通選挙の確立とはプロセスが異なりました。
問3	答え 3 日露戦争	19世紀末から20世紀初頭にかけて、日本は朝鮮半島や中国東北部（満洲）への影響力を強めようとしていました。これに対し、南下政策をとるロシアとの対立が深まり、1904年（明治37年）に開戦に至りました。この戦争は翌1905年まで続き、アメリカの仲介によるポーツマス条約で講和しました。
問4	答え 3 領事裁判権（治外法権）を認めていた	当時、日本は欧米列強と不平等条約を結んでおり、外国人が日本で罪を犯してもその国の領事が裁判を行う「領事裁判権（治外法権）」を認めていました。この事件でその弊害が明らかになり、法権の回復（領事裁判権の撤廃）が急務であるという認識が国民全体に広がりました。関税自主権の欠如も不平等条約の特徴ですが、この事件の裁判結果とは直接関係ありません。
問5	答え 1 自由民権運動	1870年代から1880年代にかけて高まった政治運動です。最初は士族が中心でしたが、やがて豪農や一般の民衆にも広がり、各地で憲法草案が作られたり、政党が結成されたりしました。
問6	答え 1 日比谷焼打ち事件	ポーツマス条約の内容が公表されると、賠償金が得られないことなどに不満を持った人々が東京の日比谷公園に集まり、講和反対の国民大会を開きました。この集会に集まった群衆の一部が暴徒化し、警察署や政府系の新聞社、大臣官邸などを襲撃する大規模な騒乱へと発展しました。この事件は、戦争による負担を強いられてきた民衆の不満が、政府の外交姿勢に向けられた結果として知られています。
問7	答え 4 内閣の各国务大臣は、天皇を助ける「輔弼（ほひつ）」の役割を担い、天皇に対して個別に責任を負った。	大日本帝国憲法では、行政権は天皇に属しており、内閣（各大臣）は天皇の権限行使を助ける「輔弼」という立場でした。現代の議院内閣制とは異なり、内閣は議会ではなく天皇に対して責任を負う仕組みであったため、議会の多数派が必ずしも政権を担当するわけではありませんでした。この仕組みは、後に政党政治が衰退する要因の一つにもなりました。
問8	答え 1 自由民権運動	1874年に板垣退助や後藤象二郎らが「民撰議院設立の建白書」を提出したことで、藩閥政治を批判し、国民の代表による政治を求める動きが全国に広がりました。この運動を自由民権運動と呼び、のちの国会開設や大日本帝国憲法の制定に大きな影響を与えました。
問9	答え 3 二十一か条の要求	1914年に第一次世界大戦が始まると、日本は日英同盟を理由に参戦し、ドイツが中国の山東省に持っていた権益を占領しました。翌1915年、この権益の継承や満州（中国東北部）での利権拡大を求めて袁世凱政府に突きつけたのが「二十一か条の要求」です。これにより、日本は東アジアにおける国際的な立場を強めましたが、同時に中国の反日運動やアメリカ・イギリスとの対立を招く要因にもなりました。
問10	答え 2 憲法の制定や刑法・民法などの近現代的な法体系を整備し、欧米に劣らない法治国家の仕組みを整えた。	欧米諸国が領事裁判権の撤廃に応じなかった大きな理由は、当時の日本の法律や裁判制度が不十分であり、自国民が不当な扱いを受けることを恐れたためです。そのため、明治政府は大日本帝国憲法の発布や、西洋の法律を模範とした法典整備を急ピッチで進めました。こうした近代化の努力が認められた結果、1894年の日英通商航海条約によって領事裁判権の撤廃が実現しました。
問11	答え 1 イギリス船が沈没した際、日本人乗客が見捨てられたにもかかわらず船長らが軽い罰で済まされたノルマントン号事件	ノルマントン号事件は、イギリスの貨物船が和歌山県沖で沈没した際、イギリス人乗員は救命艇で脱出しましたが、日本人乗客25名が全員水死した事件です。当時の不平等条約により、犯した罪は本国の領事が裁く「領事裁判権」が認められていたため、イギリス人船長らは軽い刑で済まされました。この判決に対し、日本国内では「不平等条約を改正すべきだ」という世論がかつてないほど高まりました。
問12	答え 4 辛亥革命	孫文は「民族の独立・民権の伸長・民生の安定」を掲げる三民主義を唱え、清の専制政治を倒して国民が主権を持つ近代国家の建設を目指しました。この革命によって長年続いた皇帝政治に終止符が打たれ、アジアにおける近代化の大きな転換点となりました。
問13	答え 3 名称は西南戦争であり、背景には明治政府の近代化政策によって武士としての地位や特権を失った士族の不満があった。	明治政府が四民平等を掲げて近代化を進める中で、士族（元武士）は経済的な基盤である秩禄を失い、さらに廃刀令によって武士の象徴である刀を奪われました。こうした特権の喪失に対する不満が限界に達し、鹿児島県の不平士族が西郷隆盛を担ぎ上げて起こしたのが西南戦争です。これは日本国内で最後かつ最大の士族反乱となりました。
問14	答え 3 東京の日比谷公園で講和反対の国民大会が開かれ、暴動へと発展した日比谷焼き打ち事件が起きた。	日露戦争では、多大な戦死者が出ただけでなく、国民は重い税負担に耐えてきました。しかし、アメリカの仲介で結ばれたポーツマス条約では、ロシアから賠償金を得ることができなかったため、苦勞に見合う成果がないと感じた国民の怒りが爆発しました。この暴動により、当時の小村寿太郎外相らが批判され、桂太郎内閣は退陣に追い込まれました。

- 問1 明治政府は1875年、ロシアとの間で北方の国境を確定させるための条約を締結しました。この条約において、日本が千島列島を領有する代わりに、ロシア領として確定した地域はどこですか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
1. 樺太 2. 小笠原諸島 3. 沖縄 4. 択捉島
- 問2 明治時代の政治の動きをまとめた資料において、明治政府による藩閥政治を批判し、国民が政治に参加する権利を求めて全国に広がった政治・社会運動について述べられています。この運動が政府に対して強く求めた内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 国会の開設や憲法の制定 2. 廃藩置県や版籍奉還 3. 殖産興業や地租改正 4. 治外法権の撤廃や関税自主権の回復
- 問3 下関条約の締結後に行われた「三国干渉」の背景やその後の影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 三国干渉を受けた日本国内では、清への同情が集まり、その後の日清関係が劇的に改善した。 2. ロシアが自国の東アジア進出を有利にするため、日本が獲得した遼東半島の返還を要求した。 3. イギリスが日本の勢力拡大を恐れ、ロシアやフランスと協力して日本に軍事的な圧力をかけた。 4. 日本は三国干渉を拒否して遼東半島を保持し続けたが、その見返りとして清に賠償金を全額返還した。
- 問4 明治時代、政府が「殖産興業」を推進したことにより日本の社会や経済は大きく変化しました。この政策がもたらした変化の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 政府が伝統的な家内制手工業を保護したため、農村部では自給自足の体制が維持され、輸出額は減少した。 2. 武士が中心となって政治を行う体制が継続されたため、工業化よりも軍備の近代化のみが優先され、民間工場は衰退した。 3. 生産の機械化が進んだことで製品の輸出が可能になり、工場で働く労働者が急増して近代的な社会構造が形成された。 4. 石炭や鉄鋼などの重工業が最初から発展の主役となり、軽工業における女性労働者の数は減少した。
- 問5 明治維新後の政治体制が整えられていく過程において、1868年に天皇が神に誓う形式で発表され、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した文書を何とといいますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 大日本帝国憲法 2. 民選議院設立の建白書 3. 五箇条の御誓文 4. 教育勅語
- 問6 大日本帝国憲法下の帝国議会において、衆議院の議員はどのような方法で選出されることになっていましたか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 内閣総理大臣が推薦した人物の中から、天皇の裁可によって任命された 2. 一定の直接国税を納めた25歳以上の男子による投票で選出された 3. 各府県の知事が、地域の有力者の中から実務経験に基づいて指名した 4. 皇族や華族、あるいは天皇から任命された者などで構成された
- 問7 20世紀初頭のヨーロッパにおける国際関係の説明として、当時の各国の同盟・協商関係の背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. ドイツはオーストリア、イタリアと三国同盟を結んで中心勢力となり、それに対してイギリスはフランス、ロシアと三国協商を形成して対抗した。 2. 日本はイギリスと日英同盟を結んでいたため、ヨーロッパでの対立には関与せず、三国同盟と三国協商のどちらの陣営にも属さない中立の立場を維持した。 3. フランスはドイツとの友好関係を重視して三国同盟に加わり、イギリスや日本、ロシアによる三国協商の勢力拡大を阻止しようとした。 4. オーストリアはロシアとの連携を強めるために三国協商に参加し、イギリス、フランスとともにドイツやイタリアを包囲する体制を整えた。
- 問8 明治時代後半の1889年、近代国家の枠組みを整えるために大日本帝国憲法が公布されました。この憲法の定めに従って行われるようになった政治形態を何とといいますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 立憲政治 2. 民主主義 3. 律令政治 4. 専制政治
- 問9 19世紀末から20世紀前半にかけて、日本は近代化を進め国際社会での役割を広げていきました。この時期の出来事である「板垣退助による自由党の結成」「野口英世の義和団事件での医療活動」「新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任」を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 義和団事件での活動 → 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任 2. 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任 3. 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任 → 義和団事件での活動 4. 国際連盟事務次長への就任 → 自由党の結成 → 義和団事件での活動
- 問10 1870年代の明治政府による産業育成（殖産興業）の動きをまとめた記述において、群馬県に設立された西洋式の官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 三菱長崎造船所 2. 足尾銅山 3. 八幡製鉄所 4. 富岡製糸場
- 問11 1894年の日清戦争から1905年の日露戦争にかけて、日本を取り巻く国際情勢は激しく変化しました。この時期に起こった次の4つの出来事について、時系列として正しい並び順になっているものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 日英同盟の締結 → 三国干渉 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦 2. 義和団事件 → 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 3. 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 4. 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦
- 問12 2004年から発行された千円札の肖像として、野口英世が選定された基準や背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 学校の教科書にも登場して知名度が高く、これまでに例のない科学者を肖像として採用するという基準 2. 近代経済の基礎を築いた人物として、新しい資本主義の形を示した実業家を採用するという基準 3. 女性の社会進出を象徴するため、日本初的女子留学生として活躍した文化人を採用するという基準 4. 明治維新以降の政治的混乱を収束させ、内閣制度を確立した政治家を採用するという基準
- 問13 1894年に陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した後、1911年に外務大臣の小村寿太郎がアメリカとの交渉によって実現した、日本が輸入品に対して課す税の割合を自国で決定できる権利の回復を何というか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 関税自主権の回復 2. 領事裁判権の撤廃 3. 治外法権の承認 4. 最恵国待遇の獲得

答え合わせ・解説

問1	答え 1 樺太	1875年に日本とロシアの間で締結された「樺太・千島交換条約」により、それまで日露の雑居地（両方の国の人が住む境界が曖昧な土地）とされていた樺太をロシア領とし、代わりに日本が千島列島のすべてを領有することが決められました。
問2	答え 1 国会の開設や憲法の制定	板垣退助らによる民権議院設立建白書の提出をきっかけに始まったこの運動は、一部の藩の出身者が実権を握る藩閥政治を批判し、議会政治の実現を求めたものです。全国で演説会が開かれたり、各地で憲法の草案（私擬憲法）が作成されたりするなど、日本の近代化における民主化の要求として重要な役割を果たしました。
問3	答え 2 ロシアが自国の東アジア進出を有利にするため、日本が獲得した遼東半島の返還を要求した。	南下政策を進めていたロシアは、日本が中国大陸の拠点である遼東半島を領有することを強く警戒しました。そのため、フランス・ドイツを誘って日本に圧力をかけました。この干渉に屈した日本は、ロシアへの敵対心を強め、「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」を合言葉に軍備拡張を進め、のちの日露戦争へとつながる背景となりました。
問4	答え 3 生産の機械化が進んだことで製品の輸出が可能になり、工場で働く労働者が急増して近代的な社会構造が形成された。	明治政府は欧米列強に対抗するため、官営模範工場の設立などを通じて「殖産興業」を推し進めました。その結果、製糸業や紡績業といった軽工業を中心に生産の機械化が進み、海外への輸出が盛んになりました。これに伴い、農村から都市の工場へと働き手が流入し、1880年代から1900年頃にかけて工場労働者の数が激増するなど、日本は近代的な労働社会へと変貌を遂げました。
問5	答え 3 五箇条の御誓文	明治新政府が発足した直後の1868年に出された方針です。旧来の因習を打破し、広く知識を世界に求めることや、合議によって物事を決定することを宣言しました。これはその後の近代化に向けた改革の出発点となりました。
問6	答え 2 一定の直接国税を納めた25歳以上の男子による投票で選出された	帝国議会は、皇族・華族や勅任議員で構成される「貴族院」と、国民の投票によって選ばれる「衆議院」の二院制で構成されていました。衆議院は国民の意思を反映する場として設置されましたが、当初は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」という厳しい納税制限があったため、実際に投票できたのは全人口の1%強に限られていました。
問7	答え 1 ドイツはオーストリア、イタリアと三国同盟を結んで中心勢力となり、それに対してイギリスはフランス、ロシアと三国協商を形成して対抗した。	当時のヨーロッパは、中央ヨーロッパに位置するドイツ・オーストリア・イタリアの「三国同盟」と、それを囲むように位置するイギリス・フランス・ロシアの「三国協商」という二大ブロックに分かれていました。日本は日英同盟を通じてイギリスと結びついていたため、第一次世界大戦が始まると協商国（連合国）側で参戦することになります。オーストリアはバルカン半島をめぐるロシアと対立していたため、ドイツとの同盟を重視していました。
問8	答え 1 立憲政治	明治政府が近代化の一環としてアジアで初めての近代憲法である大日本帝国憲法を制定したことにより、法に基づいて政治を行う体制が整いました。これは、それまでの天皇や一部の藩閥が絶対的な権力を持つ政治から、憲法という最高法規によって権力に制限をかけ、政治運営を行う仕組みへの転換を意味します。
問9	答え 2 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任	板垣退助が日本初の政党である自由党を結成したのは、自由民権運動が激化した1881年（明治14年）のことです。その後、1900年（明治33年）に清で発生した義和団事件に際して、野口英世が医官として現地で活動しました。第一次世界大戦後の1920年（大正9年）に国際連盟が設立されると、新渡戸稲造がその事務次長に就任し、「太平洋の橋」となるべく尽力しました。したがって、自由民権運動、明治後期の国際紛争、大正期の国際協調という流れになります。
問10	答え 4 富岡製糸場	明治政府は、日本の主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を図るため、1872年にフランスの技術を導入した模範工場を群馬県に設立しました。これが富岡製糸場であり、全国から集まった工女たちが技術を学び、各地に広める役割を果たしました。八幡製鉄所は日清戦争後の1901年に稼働した重工業施設であり、時代や目的が異なります。
問11	答え 3 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦	日清戦争の講和条約である下関条約の直後（1895年）、ロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を求めたのが三国干渉です。その後、清で排外主義運動である義和団事件（1900年）が起ころ、これに出兵したロシアが満州に駐留し続けたため、日本は1902年にイギリスと日英同盟を結んでロシアに対抗し、1904年の日露戦争へと至りました。
問12	答え 1 学校の教科書にも登場して知名度が高く、これまでに例のない科学者を肖像として採用するという基準	2004年の紙幣刷新における肖像の選定では、偽造防止の観点から精密な写真が残っていることに加え、広く国民に親しまれている文化人であることが重視されました。野口英世は、科学者としての高い知名度と、その功績が教科書等を通じて広く知られていたことから千円札に採用されました。
問13	答え 1 関税自主権の回復	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は悲願でした。1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた後、1911年に小村寿太郎が日米通商航海条約を調印することで、自国の産業を保護するために重要な「関税を自主的に決める権利」を完全に取り戻しました。これにより、日本は法権と税権の両面で欧米諸国と対等な立場になりました。

- 問1 日露戦争直前の外交状況を説明した文章として、1902年に日本とイギリスの間で結ばれた同盟の背景や目的を述べたものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 三国干渉によって遼東半島を返還させられたことに對し、ドイツ・フランスへ抗議すること | 2. 第一次世界大戦の勃発に備え、ヨーロッパ諸国との連携を強化して国際的地位を高めること | 3. ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の權益を維持すること | 4. 韓国を保護国化し、朝鮮半島における日本の排他的な統治権をイギリスに認めさせること |
|--|--|---|---|
- 問2 1905年に結ばれた日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容について、1895年の日清戦争の講和条約（下関条約）との違いを説明した文として正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 下関条約では朝鮮に対する日本の指導権が認められたが、ポーツマス条約ではそれが否定された。 | 2. 下関条約では領土の割譲が認められなかったが、ポーツマス条約では樺太の南半分を獲得した。 | 3. 下関条約では賠償金を得られなかったが、ポーツマス条約では多額の賠償金を得ることに成功した。 | 4. 下関条約では多額の賠償金を得ることができたが、ポーツマス条約では賠償金を得ることができなかった。 |
|---|--|--|---|
- 問3 明治政府が1872年に群馬県に富岡製糸場を設立した主な理由として、当時の輸出の状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 欧米諸国への輸出が途絶えたお茶に代わり、新しい輸出品目を開発するため。 | 2. 外国から輸入されていた安価な綿糸に對抗するため、国内での自給自足体制を確立するため。 | 3. 西洋の技術を導入して品質を向上させ、主要な輸出製品であった生糸の増産を図るため。 | 4. 日清戦争後に必要となった重工業の基盤をつくるため、鉄鋼生産の模範を示すため。 |
|--|---|---|---|
- 問4 1894年、朝鮮の支配権をめぐる対立などを背景にして、日本と清（中国）との間で起こった戦争の名称として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 日清戦争 | 2. 甲午農民戦争 | 3. 太平洋戦争 | 4. 日露戦争 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問5 1911年に清を倒すための革命が起こり、翌1912年にはアジアで初めての共和国である中華民国が成立しました。この際、「民族・民権・民生」からなる三民主義を唱えて革命運動を指導し、臨時大總統に就任した人物は誰ですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 袁世凱 | 2. 蒋介石 | 3. 毛沢東 | 4. 孫文 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問6 1872年に「学制」が発令された当時の状況や、その後の教育制度の展開について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. この法令は戦後のGHQによる教育改革の際に制定されたもので、現在の6・3・3・4制の基礎となった。 | 2. 教育の費用はすべて国庫から支出されたため、農山村では就学率が急速に高まり、反対運動は起こらなかった。 | 3. 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。 | 4. 武士などの特権階級にのみ高度な教育を施すことを目的としたため、平民の子供は学校に通う必要がないとされた。 |
|--|---|--|---|
- 問7 1894年に起きた日清戦争の直接的なきっかけとなった出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる甲午農民戦争が起き、その鎮圧のために日清両軍が朝鮮へ出兵したことに。 | 2. イギリスが清に対してアヘンの輸出を強行し、これに反発した清が日本に軍事援助を求めたこと。 | 3. ロシアが朝鮮半島の凍らない港（不凍港）を求めて南下し、日本と清が共同でこれに抗議したこと。 | 4. 豊臣秀吉が明の征服を目指して朝鮮へ軍を進め、それを阻止しようとした清の軍隊と衝突したこと。 |
|---|---|--|--|
- 問8 1881年に起きた「明治十四年の政変」について、その内容と政府の対応を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 政府の方針に反対する農民が秩父事件を起こしたため、政府は保安条例を制定して運動を厳しく弾圧した。 | 2. 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。 | 3. 内閣制度が創設されたことにより、板垣退助が初代内閣総理大臣に任命され、自由民権運動は終息した。 | 4. 伊藤博文がドイツ（プロイセン）へ渡り、君権の強い憲法を研究して帰国したことで、国会開設が前倒しされた。 |
|---|--|--|--|
- 問9 1882年には全国で約7万人だった工場労働者数が、1900年には約49万人へと激増している統計資料があります。この時期の日本の産業発展の様子を説明した文として、適切なものを選択してください。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。 | 2. 重化学工業の発展により労働環境が改善され、労働者の数は横ばいであったが生産性が飛躍的に向上した。 | 3. 第一次世界大戦の特需により重工業化が進んだ結果、農村の人口が減少し、食料を輸入に頼る社会となった。 | 4. 士族授産によって武士が工場の経営者となったため、江戸時代以来の徒弟制度がそのまま維持された。 |
|--|---|--|---|
- 問10 1904年から1905年にかけて行われた日露戦争において、日本が欧米列強の一角であるロシアに勝利したことは、当時列強の支配下にあったアジア諸国にどのような影響を与えましたか。その後の歴史的な動きとして最も適切な説明を選んでください。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 開拓使の設置によって北海道の産業が発展したことが、東南アジア諸国における農業近代化の直接的なモデルとなった。 | 2. 日本が強国ロシアを破ったことがアジア諸国に独立の希望を与え、各地で民族運動が活発化するきっかけとなった。 | 3. 日本の勝利により、アジア諸国の多くが日本と同様に欧米列強の軍事同盟へ加入することを認められるようになった。 | 4. ロシアの敗北によってシベリア鉄道の権利がすべてアジア諸国に返還され、陸路による貿易が急速に発展した。 |
|---|---|--|---|
- 問11 福沢諭吉が著書『学問のすゝめ』の中で、国民が「学問」をすることの意義として強調した考え方はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 武士のような高い身分を再び獲得し、生活を安定させられる | 2. 西洋の宗教であるキリスト教を広めるための基礎知識となる | 3. 政府の命令に忠実に従うための高い知能を養うことができる | 4. 一人一人が自立した精神を持つことで、国家の独立を維持できる |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問12 明治時代の産業の発達について述べた文のうち、北九州に建設された八幡製鉄所に関する説明として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕末から明治にかけて横須賀に建設され、軍艦の製造を主目的とした官営の造船所である。 | 2. 第一次世界大戦中の大戦景気を背景に、民間の資本によって設立された日本最大の製鉄所である。 | 3. 日清戦争の賠償金を資金として建設された、鉄鋼生産を担う官営の工場である。 | 4. 明治初期に設立された官営模範工場で、製糸技術の普及とシルクの輸出拡大に貢献した。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の権益を維持すること	当時、ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進しており、満洲を占領して朝鮮半島にも圧力をかけていました。日本は自国の安全保障の観点から、イギリスは清における自国の商業利権を守る観点から、共通の敵であるロシアに対抗する必要がありました。この同盟により、日本は日露戦争においてイギリスから資金援助や情報の提供を受けることが可能となりました。
問2	答え 4 下関条約では多額の賠償金を得ることができたが、ポーツマス条約では賠償金を得ることができなかった。	日清戦争後の下関条約では、日本は清から当時の国家予算の数倍にあたる多額の賠償金を得ました。しかし、日露戦争後のポーツマス条約では、日本の軍事力が限界に達していたことや、ロシア側に支払いの意志がなかったことなどから、賠償金を得ることはできませんでした。この違いは当時の国民感情に大きな影響を与えました。
問3	答え 3 西洋の技術を導入して品質を向上させ、主要な輸出製品であった生糸の増産を図るため。	明治時代初期の日本にとって、生糸は外貨を稼ぐための最大の輸出品でしたが、品質のばらつきが課題でした。政府は官営模範工場である富岡製糸場をつくることで、器械製糸という西洋の技術を広め、国際競争力のある高品質な生糸を大量に輸出できる体制を整えようとしていました。
問4	答え 1 日清戦争	1894年に日本と清の間で勃発した戦争は日清戦争です。朝鮮での甲午農民戦争などをきっかけに出兵した両国が衝突して始まりました。1904年に起こった日露戦争とは時期や相手国が異なります。
問5	答え 4 孫文	孫文は「革命の父」と呼ばれ、三民主義を掲げて清の打倒と近代国家の建設を目指しました。1911年に勃発した辛亥革命を受け、翌年に南京で中華民国が成立した際に初代の臨時大總統に選出されました。毛沢東は後の社会主義革命の指導者であり、蒋介石は孫文の死後に国民政府を率いた人物です。
問6	答え 3 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。	明治政府は近代化を進めるため、国民一人ひとりが教育を受けることを重視しました。しかし、当時の学制では授業料を各家庭が負担する必要があったことや、子供が貴重な労働力として期待されていたことから、生活が苦しい農民たちの間では、学校の打ちこわしなどの反対運動が起こることもありました。就学率が90%を超えるようになるのは、その後の明治時代後半になってからのことです。
問7	答え 1 朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる甲午農民戦争が起き、その鎮圧のために日清両軍が朝鮮へ出兵したこと。	朝鮮半島で東学という宗教を信じる農民らが「民衆の救済」と「外国勢力の排除」を求めて甲午農民戦争（東学党の乱）を起こすと、朝鮮政府は清に援軍を求めました。日本もこれに対抗して出兵し、農民軍が政府と和解した後も両軍は撤退せず、朝鮮の主導権をめぐる日清戦争へと発展しました。
問8	答え 2 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。	政府内部では国会の開設時期について意見が分かれており、イギリス流の議院内閣制をモデルに早期の開設を求めた大隈重信と、ドイツ流の君主権が強い仕組みを理想として慎重な姿勢をとった伊藤博文らが対立していました。開拓使官有物払下げ事件への批判が高まる中、政府は大隈を追放し（明治十四年の政変）、同時に「国会開設の詔」を出して10年後の1890年に国会を開くことを公約することで、事態の沈静化を図りました。
問9	答え 1 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。	1880年代後半から1890年代にかけて、日本は産業革命の時期を迎えました。特に製糸業や綿紡績業といった軽工業で機械による大量生産が実現し、生糸や綿糸は当時の日本の重要な輸出項目となりました。この労働力として多くの人々が工場に雇用されたことが、統計における労働者数の激増という数字に表れています。重工業が本格的に発展するのは日露戦争以降の時期になります。
問10	答え 2 日本が強国ロシアを破ったことがアジア諸国に独立の希望を与え、各地で民族運動が活発化するきっかけとなった。	日露戦争での日本の勝利は、有色人種の国が白人の大国に勝利した初めての近代戦として、世界中に衝撃を与えました。この事実が、当時イギリスやフランス、オランダなどの植民地支配を受けていたアジア諸国の人々に「自分たちも近代化を成し遂げれば独立できる」という強い希望を与え、ベトナムのドンズー（東遊）運動や中国の辛亥革命、インドの自治要求など、各地の民族運動を大きく刺激することとなりました。
問11	答え 4 一人一人が自立した精神を持つことで、国家の独立を維持できる	福沢諭吉は、欧米列強と対等な関係を築くためには、国民がただ政府に頼るのではなく、一人一人が実用的な学問（実学）を学び、独立心を養うことが不可欠であると説きました。「一身独立して、一国独立する」という言葉に、その目的が集約されています。
問12	答え 3 日清戦争の賠償金を資金として建設された、鉄鋼生産を担う官営の工場である。	八幡製鉄所は、1890年代後半から建設が始まり1901年に操業した官営工場です。富岡製糸場のような軽工業の模範工場とは異なり、重工業の発展を目的として政府が直接運営を行いました。この工場での鉄鋼生産の開始は、日本の近代産業が新たな段階に入ったことを示しています。